

○事業所名	さんりんしゃ3（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 29日		～ 令和 7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 16日		～ 令和 8年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人で馬を所有しており、他ではできない体験を提供しています。（乗馬療法・馬とのふれあいなど）	当事業所では、希望されている方を対象に、主治医の許可を得たうえで乗馬療法を実施しています。専門スタッフが利用者一人ひとりの能力や状態に合わせて、安全に配慮しながら楽しめるプログラムを提供しています。 馬にのらない方にも、馬とのふれあい（人参りなど）を楽しんでいただけるような機会を提供しています。	今後も安全に気を付けながら継続していきます。
2	法人で独自の水治療棟（プール）を所有しており、年間を通して水治療が楽しめます。	重症心身障害児など特に体温調節が難しい方でも、温度調整（水温・室温）が可能な設備を整えており、安心してご利用いただけます。 それぞれの利用者の状態に合わせた支援を実施しております。	今後も安全に気を付けながら継続していきます。
3	経験豊富な多職種が連携し、支援を提供しています。	保育士、児童指導員、看護職員、リハビリ職など様々な職種が集まり、それぞれ培ってきた経験を活かしながらチーム全体で一人ひとりにあった活動プログラムやケアを提供しております。	それぞれの専門職としての強みを生かしながら、自己研鑽に励み、職員一同協力しながらより良い支援を提供できるように努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時の発生時の対応について、定期的に訓練・研修を行っています。その内容について皆様に十分に伝わっていないようです。	定期的な訓練等を他部署と合同で実施しており、前年度の反省を踏まえて、訓練当日にご参加頂いた利用者以外にも、月の活動報告ご案内メールの中でお知らせをしたところですが、まだ十分に伝えられていないようです（アンケート結果）。 メール文中での案内のため、十分に目を通していただけていない可能性もあります。	実施した訓練や研修の概要について、皆様に伝えられるよう再度検討してまいります。 ご案内メールの件名や長さ等により、目を通していただけていない可能性もある為、ご案内の方法を再度検討し、ご負担なく目を通していただける（お伝えできる）ように努めてまいります。
2	地域の他の子どもと活動する等、地域交流の場を十分に設けることが出来ておりません。	年に数回、地域への外出や散歩（お花見など）を実施しておりますが、地域のほかの子ども達との交流はあまりないのが現状です。 また、外出の際は当日の利用者の体調や移動手段の確保、感染症に関する事等を考慮する必要があり、スムーズに実施することが難しい場合もあります。	地域社会への参加の第一歩として、引き続き感染症対策等に配慮しながら外出し、公共施設の利用や、公園など地域の方々が集う場所へ出向くことで、自然な交流の機会を広げるよう努めてまいります。 子どもふくし協議会の交流会等の参加についても保護者様の意向等も確認しながら慎重に検討しつつ、社会参加を支援してまいります。
3	保護者様同士の交流をはじめとする保護者支援やきょうだい支援等が十分に行えていません。	今年度久しぶりにファミリー感謝デーを開催いたしました。案内が直前となってしまったり、小規模事業所でありご利用者数が少ない事や、感染症流行等の影響でたくさんのご家族に集まっていただくことには課題があります。	感染症の流行状況にもよりますが、適時他部署とも連携しながら、当施設に適した形での支援を引き続き模索してまいります。